

**製品名: CAPON ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03909**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:56 kDa;Observed MW: 56 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NOS1AP
別名	CAPON, KIAA0464,NOS1AP,Carboxyl-terminal PDZ ligand of neuronal nitric oxide synthase protein,C-terminal PDZ ligand of neuronal nitric oxide synthase protein,
遺伝子 ID	9722.0
SwissProt ID	O75052
免疫原	ヒト CAPON の合成ペプチド

**背景**

nNOS/NOS1 との会合を介して神経細胞の一酸化窒素 (NO) 合成調節に関与するアダプタータンパク質。NOS1 とシナプシンと形成される複合体は、シナプス前レベルにおける特定の NO およびシナプシン機能に必須である。NOS1 と RASD1 間の間接的な相互作用を媒介し、NOS1 による RASD1 活性化能を高める。NOS1 との相互作用において DLG4 と競合し、NOS1 と DLG4 間の相互作用を調節することで NOS1 の活性に影響を与える可能性がある (類似性に基づく)。腎臓のポドサイトにおいて、CDC42 の活性化を介してポドソームおよび糸状仮足の形成に関与する (PubMed:33523862)。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ

CAPON 抗体を使用したラット脳溶解物中の CAPON のウエスタンブロット分析。

